

【青年組合員編 No1】

あなたは
若手組合員

国内で大規模な自然災害が発生、甚大な被害が出ている。同じ組合の若手組合員に声をかけて少しでも早く支援をしたいが、所属している組合としての対応はまだ決まっていない。

自ら率先して
支援を行う？

Yes(率先して支援を行う)
OR
No(組合の判断を待つ)

【青年組合員編 No2】

あなたは
青年委員会委員長

明日からのイベントに向けて準備中、県内で震度5弱の地震が発生。幸い大きな被害は無かったものの、余震の可能性もあり油断できない。参加者は県内各地から集まる予定。

イベントを開催する？

Yes(開催する)
OR
No(中止する)

【青年組合員編 No3】

あなたは
青年委員会委員長

2日後に迫った青年委員会のキャンイベント、この日のために1年間準備してきた。しかし、台風が接近しており、当日暴風域に入る可能性は20%。参加者への周知や準備を考えると、開催可否の判断は今日がリミット。

イベントを開催する？

Yes(開催する)
OR
No(中止する)

【青年組合員編 No4】

あなたは
若手組合員

国内で大規模な自然災害が発生、若手組合員で街頭カンパを行うこととなった。ところが、カンパを行う場所では違う団体がすでに街頭カンパを行っていた。「ここで一緒にやりましょう」と声をかけられたが、どんな団体かはよくわからない。

一緒にカンパを行う？

Yes(一緒に行く)
OR
No(行かない)

【青年組合員編 No5】

あなたは
青年ボランティアリーダー

被災地へ若手組合員でボランティアへ行くことになった。メンバー募集の際、後輩の1人が手を上げた。力仕事は頼りになるが、協調性がなくチーム作業には不安がある。本人のやる気も尊重したい。

一緒に連れて行く？

Yes(連れて行く)
OR
No(連れて行かない)

【青年組合委員編 No6】

あなたは
青年委員会委員長

国内で大規模な災害が発生して半年が経過。所属している組合では、被災地への支援活動を行っている。1年以上前から企画していた青年委員会イベントが3ヵ月後に控えているが、開催会場の予約等を考慮すると開催可否の判断は今日がリミット。

イベントを開催する？

Yes(開催する)
OR
No(中止する)

【災害ボランティア編 No1】

あなたは
ボランティアセンターのスタッフ

寒い日が続いている。68歳の男性からボランティアの申し出。「いろいろ被災地で活動経験がある。血压が少し高いが薬も飲んでいるので大丈夫」という。

活動してもらおう？

Yes(活動してもらおう)
OR
No(断る)

【災害ボランティア編 No2】

あなたは
女子高の先生

生徒の発案で、水害の被災地に片付けのボランティアをしに行くこととなった。ところが体操着で行くと決めていたのに、集合場所にスカートで来た生徒がいる。

連れて行く？

Yes(連れて行く)
OR
No(連れて行かない)

【災害ボランティア編 No3】

あなたは
ボランティア

活動をしていたら、地元のおばあちゃんから「お疲れさま、これ食べて」と、ちり紙に包まれたまんじゅうを手渡された。

その場で食べる？

Yes(食べる)
OR
No(やめておく)

【災害ボランティア編 No4】

あなたは
ボランティアセンターの責任者

ボランティアセンターの開設準備中。大勢のボランティアがつめかけ、スタッフは対応に手一杯。しかし現場の状況把握も必要。数少ないスタッフを

現場に行かせる？

Yes(行かせる)
OR
No(行かせない)

【災害ボランティア No5】

あなたは
ボランティアセンターの
スタッフ

夕方になって雨。そこへ被災者から「ブルーシートが足りないので持ってきて欲しい」との依頼があった。途中は峠道で崖崩れが不安。帰りは確実に夜。

それでも持って行くか？

Yes(持って行く)
OR
No(明日にする)

【災害ボランティア編 No6】

あなたは
ボランティアセンターの
スタッフ

住民で片付けをした地区の世話役から「当地区にはボランティアは必要ない」と言ってきた。ところが、個別には住民から活動依頼がある。ボランティアを

派遣する？

Yes(派遣する)
OR
No(派遣しない)

【市民編 No1】

あなたは
市民

大きな地震のため、避難所（小学校体育館）に避難しなければならない。しかし、家族同然の飼い犬“もも”（ゴールデンレトリバー、メス3歳）がいる。

一緒に避難所に連れて行く？

Yes(連れてゆく)
OR
No(置いてゆく)

【市民編 No2】

あなたは
30歳代の夫婦

ようやく手に入れた新築マンション。何度もショールームに通って吟味したインテリアにふたりとも大満足。しかし、大地震がきたら家具が倒れるかもしれない。

格好は悪いが耐震金具を家具につける？

Yes(つける)
OR
No(つけない)

【市民編 No3】

あなたは
父親(一般企業の課長)

会社にいる。地震直後。交通機関は完全にマヒ。家族と連絡が取れず、安否が気になるが、上司として部下の安全の確保をまず優先すべき責任もある。

自分の仕事を優先するか、帰宅して家族の安否を確認するか？

Yes(仕事をとる)
OR
No(家族優先)

【市民編 No4】

あなたは
海辺の集落の
自主防災組織リーダー

10分前の地震で津波警報発令。ラジオは40分前後で第一波が襲来する危険と報じている。みなで声を掛け合い、10分あまりで高台への避難を完了した。が、一家族4人だけ姿が見あたらない。

探しに戻る？

Yes(戻る)
OR
No(戻らない)

【市民編 No5】

あなたは
被災者

地震から7日。避難所（小学校体育館）に避難中。電気だけは復旧しなんとか自宅に戻れる状況になったが、祖母（70歳）の体調が悪い。避難所ならば24時間医師が詰めているが、自宅は遠くて不便。

自宅に戻る？

Yes(自宅に戻る)
OR
No(避難所にとどまる)

【市民編 No6】

あなたは
会社員
(経理部長)

大量の在庫を抱えていたある商品が震災の影響で飛ぶような売れ行き。しかし、社長は、「ただで提供しろ」という。だが、火の車の会社の事情を考えると、このまま商品として売りたい。社長に反対できるのはあなただけ。

社長に従う？

Yes(ただで提供)
OR
No(商品として売る)

【市民編 No7】

あなたは
受験生

避難所では人手が足りず、仕事を手伝う毎日。若くて体力があるととても感謝されている。しかし、勉強は手につかず、このままでは合格できないかもしれない。

避難所の手伝いをやめて勉強に専念する？

Yes(勉強に専念)
OR
No(手伝いを続ける)

【市民編 No8】

あなたは
被災者

地震で自宅は半壊状態、家族そろって避難所へ。ただ、日頃の備えが幸いして、非常持ち出し袋には水も食料も3日分はある。一方避難所には水も食料も持たな家族多数。

その場で非常持ち出し袋をあける？

Yes(あける)
OR
No(あけない)